

発言No. 19

受付No. 20

令和 4 年 6 月 7 日
10 時 52 分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 9 番

氏名 柳楽 真智子

答弁を求める者

(○をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1. 防災について

(1) 防災訓練について

- ①今年度は住民参加型の訓練が実施されました。地区ごとに工夫をされて行われたと思いますが、今回の訓練の成果と先進事例があれば聞かせたいと思います。
- ②災害弱者と言われる子どもや高齢者、障がい者を巻き込んだ訓練が大事だと思いますが、今回の訓練ではどのような対応が行われたのか伺います。

(2) 防災行政無線について

- ①現在、防災行政無線の更新に係る整備が進められていると思いますが、ケーブルテレビ回線を活用した防災情報システムの構築と併せて、スマートフォンアプリも併用して整備するとされていました。ケーブル回線撤去工事の完了が令和8年度とのことでしたが、本格的な利用開始はいつ頃になるのか伺います。
- ②訓練当日は地域の草刈りなどが実施され、屋外におられた方も多かったと思いますが、防災行政無線の屋外子局の音が聞こえず心配する声がありました。屋外子局の設置状況と現在の設置場所や設置数で問題がないのか伺います。
- ③避難場所への防災行政無線受信機設置の必要性和設置状況を伺います。

2. 環境問題について

(1) 地球温暖化対策推進法の改正について

- ①この法改正により、市町村に対しても再生可能エネルギーの導入目標や、住民による温室効果ガス削減活動の促進などの目標開示が求められるとのことですが、浜田市としてどのような対応を考えられているのか伺います
- ②自治体は温暖化対策の促進区域を制定する努力が求められ、促進区域では、太陽光発電や風力発電などの再生可能エネルギー事業者に対して、許認可手続きのワンストップ化や環境影響評価（環境アセスメント）が簡略化されるメリットが与えられるとされています。促進区域の制定についての考えを伺います。
- ③この促進区域での再生可能エネルギー事業について、自治体が経済合理性や地域環境への影響を分析した上で、地域住民の合意を図る必要があるとされ、災害時の電力供給による地域へのメリットや自治体の関与を通じたトラブル回避を目指して、地域の理解を踏まえた円滑な事業運営を行う制度とあり、これまでの市の関わり方よりも踏み込んだ姿勢が求められているように感じますが、市としての捉え方、対応の方針を伺います。

(2) ごみ分別アプリの活用状況について

- ①アプリの活用が進むことを期待しておりますが、現在の登録状況を伺います。
- ②現在の機能以外の活用として、地球温暖化対策を視点に置いた、様々な情報発信が可能なのか伺います。

(3) 食品ロス削減について

これまで食品ロス削減についての質問を2回行わせていただいておりますが、改めて確認をさせていただきたいと思います。

- ①30・10運動の推進については、平成28年6月定例会後に市長がすぐに呼びかけをしてくださったことを記憶しております。この食べ残しを減らす取組は個人個人の意識と併せて、宴会の主催者の呼びかけが不可欠だと思っています。特に事業所等の宴会については企業への働きかけが重要と思いますので、商工会議所や商工会等との連携が図られているか伺います。
- ②個々の家庭での削減については、買いすぎない、作りすぎない、保存方法の工夫などの様々な取組があると思います。浜田市では現在どのような働きかけが行われているか伺います。
- ③フードバンク・フードドライブの活用状況を伺います。